



新宿山吹だより

都立新宿山吹高等学校通信
令和7年度第4号
【令和7年7月2日】

新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

今できることを、誠実に行う

校長 永浜 裕之

「全然勝てない馬がいる」。そのことにいち早く気付いたのは、高知競馬場で場内実況を担当するアナウンサー、橋口浩二さんでした。2003年(平成15年)春。「ハルウララ」という可愛い名が付いた牝馬(ひんば)の連敗数は、90に迫っていました。橋口さんに競馬の知識はなく、実況の仕事を始めるに当たり、出走馬について、常に入念な下調べを行ったそうです。直近の成績や血統はもちろん、未勝利の馬もチェックします。もし勝ったら実況で、「〇戦目で初勝利」と紹介するための準備です。85、86、87…。連敗数が一つ、また一つと積み重なっていきます。成績が振るわない馬から淘汰されていく世界。橋口さんはひそかに行く末を案じながらも、当時、無名のこの馬に希望を見いだしてもいました。

それは、「連敗記録を逆手にとった話題づくり」です。

当時の高知競馬は深刻な経営難に陥り、2002年度末で80億円以上の累積赤字を抱えていました。このまま赤字が続けば競馬場は閉じられてしまうかもしれません。橋口さんは、「生き残るため、ハルウララを売り出そう」と決意します。

2003年5月、橋口さんは高知新聞記者、石井 研さんに、「いつになったら勝つんだ」と、思わせぶりに切り出します。「1998年のデビュー以来、一度も勝てていないのに処分されない馬がいる。」。話を聞いた石井さんは、「これは記事になる」と直感したそうです。

2003年6月13日の高知新聞夕刊に、「1回ぐらい、勝とうな」の見出しで、88連敗を喫したハルウララ、処分はしないと誓う調教師、懸命に世話する若い厩務員(きゅうむいん)の物語が掲載されます。

この記事きっかけに大手マスコミもこぞって取り上げ、ハルウララは一気に全国区の存在になっていきます。負けを重ねるたびに人気は過熱し、全国各地からファンが高知に殺到しました。ハルウララの「単勝馬券」は「当たらない」ため、交通安全などのお守り代わりに買い求める人も相次ぎました。ハルウララのしっぽの毛を入れた交通安全のお守りなど、関連グッズも多数、販売されました。

当時は長引く不況とデフレの影響で、企業の倒産やリストラが相次いだ時代です。

そんな中で、「結果が残せなくても諦めず走る」小柄な馬は、いつしか「負け組の星」と呼ばれるようになり、その姿に多くの日本人が自らの境遇を重ね合わせます。「日本人に人気なのは源義経のような存在だから」、「判官びいきの気質がブームを引き起こした」と、橋口さんは言います。

2004年3月22日。高知競馬場に詰めかけた13,000人の視線は、ハルウララに注がれます。デビュー以来105連敗を喫しながら、「ひたむきに走る姿」が人気を集め、この日のレースでついにトップジョッキー、武豊騎手(当時35歳)が騎乗します。

「最弱の馬が、最強の騎手と組んで、初勝利を目指す」という分かりやすい構図に、スタンドは見渡す限り、人の頭、頭、頭。GIレースのような光景の中、その日の主役がレース場に姿を現すと、地鳴りのような歓声がわき上がります。

ガシャンと音を立ててゲートが開くと、ある人は祈るようにその走りを見つめ、ある人は「諦めないで」と手を合わせます。期待を一身に背負ったハルウララはスタートから出遅れ、最後まで伸びを欠きました。結果は11頭中10着。「ありがとう」、「ありがとう、ウララ〜」。106敗目を喫した馬に、スタンドから言葉が降り注ぎます。

ハイライトはレース後に待っていました。手綱を取る武豊騎手に導かれ、ハルウララがスタンド前をゆっくりと走る。通常、勝った馬が行うウィニングランに、割れんばかりの拍手が送られます。

「なんか夢みたいだ」。場内実況を担当したアナウンサー、橋口浩二さん(当時37歳)は、胸が熱くなります。ブームの仕掛け人とはいえ、1年前、ここまでの光景が見られるとは夢にも思わなかったのです。

関係者たちには葛藤もありました。高知競馬の経営難を打開しようと、マスコミへの売り込みなど、できることは何でもやりましたが、内心では、勝つ馬を差し置いて負けた馬を売り出すことは「競馬界の倫理に反する」とも言えます。「もう来るのが嫌になった」と常連のファンが不満をこぼすことも多かったそうです。マナーを知らない競馬初心者たちで場内は混乱した面もありました。武豊騎手を騒ぎに巻き込む形となった負い目もあったそうです。

ブームはいずれ去ります。ハルウララは2004年8月に113連敗目を喫したのち、馬主の意向で長い休養に入り、2006年秋、競走馬としての登録を抹消され表舞台から姿を消し、メディアに取り上げられることもなくなりました。

ハルウララは今年2月で29歳となり、人間なら80歳を優に超えるとされています。朝ご飯を食べたら昼寝して、千葉県御宿町の「マーサファーム」で余生を送っています。代表の宮原優子さんは「ウララはある意味、勝ち組ですよ」と笑います。

(読売新聞「あれから」)

生徒会長 F13 清水 桜優菜 この度、生徒会長になりました普通科1部3組の清水桜優菜です。昨年度、生徒会として活動してきた経験を活かし、良かったことは継続、改善点だと思ったことは今年度の生徒会活動でできる限り見直しをしていきたいです。さらに今年は、目安箱の活用など今までの活動であまりできていないことを挑戦していきたいと思っています。山吹生みなさんが快適に過ごせる環境を作っていけるように精いっぱい頑張ります。	通信制生徒会代表 内村 通信制課程の生徒会には選挙制度はなく、部活動のように希望すれば誰でも所属できます。部活動に所属を希望する生徒が「入部届」を提出するように、生徒会に所属したい生徒は「入部届」を提出します。 現在所属生徒は15名です。ちなみに昨年は5名ほどでした。まさかの3倍。一体この1、2年で何が起こったのでしょうか。
生徒会副会長 F23 石丸 心 皆様、こんにちは！石丸心です。昨年から引き続き、生徒会副会長を務めます。今年もその経験を生かし、笑顔溢れる場所を共に創ります。笑顔いっぱい！パワフル全力MAXで！誰もが「ここが私の居場所！」と感じる1年に！副会長、精一杯頑張ります！よろしくお願いします！	通信制生徒会、活動内容は時により様々です。 学校に関することや、自由なテーマのコラムで綴る生徒会新聞の作成及び発行。避難訓練の際には、災害や健康に関して調べ、皆さんの前で発表します。
生徒会副会長 F11 小山田帆花 初めまして。生徒会副会長を務めることになりました、F11の小山田帆花です！改めて入学前からずっと憧れていた生徒会の一員になったことを嬉しく、光栄に思っています。皆さんが充実した学校生活を送れるように頑張っていきますので、校内で見かけたら相談でも何でも良いのでぜひ声をかけてください！	通信制課程の紹介に加え、フォトスポットやミニゲームなども実施する山吹祭への出展などなど。 今年度は新たな試みも計画しております。 皆さんの過ごす学校生活に、彩りを添えられるような活動が出来たらと思っていますので、今後どうぞよろしくお願い致します。
生徒会会計 F33 柳 律希 この度生徒会会計に着任しました普通科3部3組柳律希です。今年度は、「や」やりぬく力をもって1年間取り組んでいくことと、「き」去年の会計の経験を活かし、より円滑な作業をすることの2つを信条に生徒会活動に臨んでいきます。皆さんが素敵な高校生活を送るためのお手伝いが出来るよう頑張ります。1年間よろしくお願いします！	
生徒会会計 J21 児玉 結音 このたび、生徒会会計に着任しましたJ21の児玉結音です。憧れていた役職を任せていただいたこと、心からうれしく思います！これから毎日とともに過ごす皆さん一人ひとりの姿から学び、力をいただきながら、誠実かつ丁寧に責任を持って務めさせていただきます。1年間、どうぞよろしくお願い致します。	
生徒会書記 J26 松田 悠花 この度、生徒会書記になりました情報科2部6組の松田悠花です。初めての生徒会活動で至らぬ点もあると思いますが、何事にも手を抜かず、書記として生徒会メンバーを支え皆さんのために全力で活動していきます。新宿山吹をより楽しく過ごしやすい環境を作っていけるよう精一杯頑張ります。一年間よろしくお願いいたします。	
生徒会書記 F41 久保田 結月 初めまして。この度生徒会書記に着任しました、久保田結月です。私は生徒会に入るのが初めてで経験はありませんが先輩方から学んで生徒会の一員としてこの学校を支えたいと思っています。私が生徒会の活動で特に頑張っていきたいと思っていることは学校説明会です。魅力的な学校紹介をできるように頑張りたいです！	
定時制課程 学校行事予定 7月7日（月）自己探索学習③ 11日（金）進路ガイダンス・共通テスト説明会 14日（火）保護者会、講演会 14日（火）～17日（木）修学旅行 行き先：関西方面（大阪万博、USJなど） 15日（水）～17日（木）個別面談 18日（金）球技大会、全校集会 21日（月）夏季休業日始	通信制課程 学校行事予定 7月5日（木）スクーリング 1－9 12日（土）スクーリング 1－10 19日（土）スクーリング 1－11 23日（水）Web学習コース夏季集中スクーリング 24日（木）、25日（金） 26日（土）都立学校EXPO（西新宿） 28日（月）Web学習コース夏季集中スクーリング 29日（火）、30日（水）